

令和5年度

赤羽根の里だより



茅ヶ崎市立赤羽根中学校 学校便り

令和5年11月22日(水)

校長 高橋 励

Dear Student(*^_^*)

& ~保護者の皆さまへ~

「問題の所有者」はあなたです

昨日の生徒総会で生徒会長から提案された
ルール改正の内容です。確認しておきましょう。

現行のルールでは基準服のスカートの「つり」は必ず
つけることになっていますが、「つけてもつけなくてもよ
い」というふうに変更する提案をします。

今年度の前期生徒総会で「つりを着けなくてもよいの
ではないか」という意見が挙がりました。理由は機能面
とデザイン面の大きく二つです。

機能面としては、今の基準服ではつりをしなくてもウ
エストのみで十分にスカートを固定できるため、つりを
する必要があまりない、ということです。

デザイン面としては、つりをしていないからといって
だらしく見えるかといえばそうでもないこと。つりはは
ずれやすく、外れてしまっただらんと垂れているほうが
むしろだらしく見えること。つりが外れないように意識
しながら過ごしたり、外れるたびに肩にかけなおしたり
することのわずらわしさ、などが挙げられました。

意見として十分検討に値すると判断し、現3年生の
旧生徒会本部役員を中心に、中央委員会でアンケート
を実施したり、意見交換をしたりするなど、検討をすすめ
てきました。伝統がなくなるのではないかと、いったデメ
リットも意見として挙がりましたが、メリットのほうがは
るかに大きく、改正が妥当であると意見が大多数を占め
ました。《 後 略 》

「変更の趣旨を踏まえた着こなしを」という呼び
かけと併せて日常生活のルールが変わりました。

ただし、赤羽根中学校の基準服のスタンダ
ートはつりひも付きの仕様から変更はしていません。
(次の新入生保護者説明会で提示するものも従
来通りです) 考え方としては、夏場のクールビズ
のように「基準服どおりではない服装での生活
も許容しますよ」ということです。

ところで、生徒総会のあと体育館から退場す
るときに、とある生徒から声をかけられました。

「校長先生、パーカーってOKなんですか？」

これは、生活委員への質問とその答弁を聞いた
すなおな感想だったようです。

さて、あなたならどう答えますか？

そもそも、なぜ規則やルールを定めるかといえ
ば「みんなが生活しやすくするため」だったとい
うことが意外と忘れられがちになります。そして、規
則やルールの「何のためにそうしているか」とい
うことを考えなくなると「どこまでよくて何がダメ
か」という細々とした新たなルールが増えていっ
たりすることがあります。でも、それでは「みんな
が生活しやすくするため」という目的からすると
本末転倒ですね。

**本格的に寒い季節になりました。寒さに震え
ながら学校生活を送るのは体にも心にもよくな
いですが、学校生活のスタンダードは基準服。
暖房は使いますが、換気も大切です。教室の真
ん中と窓側では入り込む冷気も変わるし、そも
も寒暖の感じ方は人それぞれ…。**

さて、生活委員は「時と場所と場合にふさわし
い選択と着こなし」の話をしていたように思いま
す。

**「パーカーってOKなんですか？」
あなたの答え、考えてみてください。**